

解答

- 一
- 問一 なかなか話をわかってくれないおじさんに対して、イライラした気持ちになってきたことを表したいから。
- 問二 ① ア ⑤ エ
- 問三 ア
- 問四 北斗は必死
- 問五 イ
- 問六 エ
- 問七 おじさんの作ったペンダントを見て感動したと北斗に言われ、北斗の母もほめていたと聞き、うれしく思ったから。

二

- 問一 A イ B ウ
- 問二 I きまり II 自然
- 問三 ウ
- 問四 科学とは、
- 問五 I × 2 ○ 3 ○
- 問六 簡単な疑問を追求せず、「そういうものだ」と早く思ってしまったほうが、世の中を楽に生きていけるから。

三

- 問一 季節：秋 根拠：さくらの紅葉
- 問二 ゲートボール場がなくなること。
- 問三 ウ
- 問四 保育園の入園式に合わせてさくらの花を咲かせる。
- 問五 ウ

四

- 1 ア 2 カ 3 ケ 4 キ 5 オ

五

- 1 朗（らか） 2 規模 3 救済 4 精進 5 副作用

解説

- 一
- 問十 おじさんがまんざらでもない（＝必ずしも悪くない）顔に変わったのは、北斗の「おじさんの作った作品に、すごく感動して」という言葉と、輪島さんに見せてもらったカシオペア座のペンダントの話聞いたからということに着目しましょう。

二

- 問六 著者は、科学のはじまりになるような「簡単な疑問」が頭に浮かばないのは、「世の中を楽に生きていくには、世の中のきまりを「そういうものだ」と早く思ってしまったほうが得だからである」「そういうことになっていると早く思ったほうが、世の中では生きやすい」と述べています。